

# 銀河探訪　さいしょの一步から 20 コースまで

## 概要

8 インチ程度で市街地で銀河を見るための導入星図とした。

手導入で見やすい物から比較的難しい物まで 20 コースを用意した。

春に限定し北天も除いた。

## 構成

滝星図 8. 5 をベースに広域図に滝星図 6. 5 を補った。

天体付近の拡大は JR' s の星図 B セットを用い、私がスケッチ風に起こしたものを補った。

Nyancotan 氏の写真を使わせて頂けることになった。12 インチ経緯台。ネットのものを 500 ピクセル角に整えた。北は向いていない。

天体の数値は、「The NGC/IC project」の値を主に用いた。

## ネット情報

写真 「nyancotan's diary」 <http://nyancotan.hatenadiary.com/> 写真は銀河の個性の参考のためで、眼視ではずっと淡くなります。

星図 [http://www.geocities.jp/toshimi\\_taki/index.htm](http://www.geocities.jp/toshimi_taki/index.htm) (全然見えないことも多いです。)

星図 <http://www.uv.es/jrtorres/triatlas.html>

データ <http://www.ngcicproject.org/>

## ねらい

市街地で銀河など不可能、と思う方はまず M53 星団を入れてみてください。難しいならそれまでです。易しいようなら M64 と M49 を探しましょう。見つかるなら、「視野に入れさえすれば」あなたの環境で 9 等までの他の銀河は見えるでしょう。是非 M60 から順におとめ座の銀河を見つけてください。また、M49 の手前の NGC4526 が見えるのなら 10 等までの銀河は見えると思います。そして 11 等に近い銀河が見え出すなら、対象天体は全天で数百になるでしょう。最初の一步が成功するように、有名な天体ではなく易しい天体をお勧めする次第です。※市街光を遮光するとか、赤ランプで眼を慣らすとか、そらし眼とか、初歩的な話はここでは扱いません。各自お願いします。

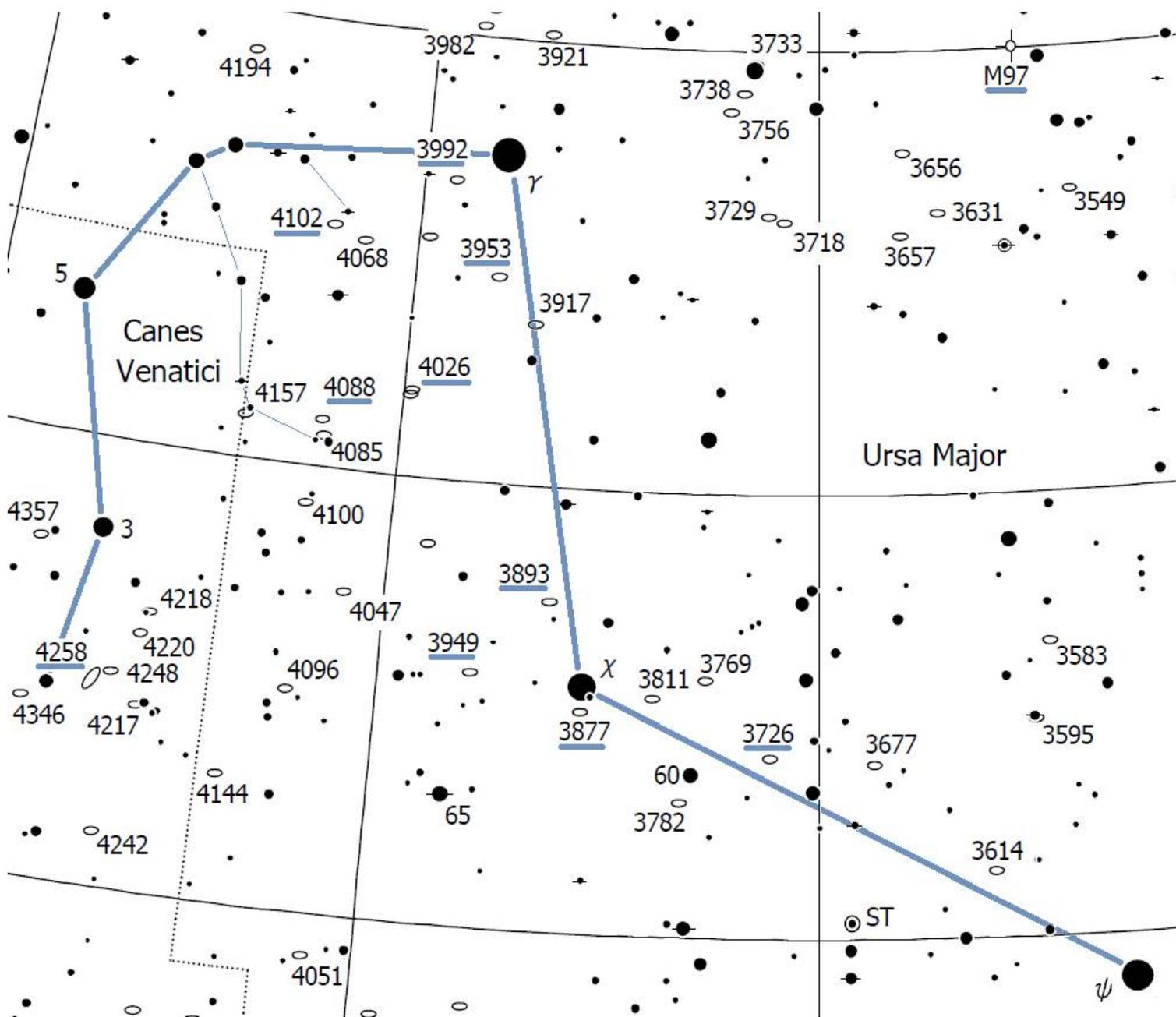
初稿 2016年1月27日

## 目次

- その1 アークチュルスから M53 M64 M49 へ
- その2 おとめ座銀河団の縦走 M60 から 59~58~87~86~84 へ
- その3 かみのけ座星団から NGC4565 へ
- その4 かみのけ座 M85 から 99 を経て M84 へ合流
- その5 マルカリアンの鎖を北上
- その6 しし座  $\gamma$  星から NGC3227 へ, ヒクソン 44 へ
- その7 しし座 M105 から M66 へ縦走する
- その8 早春編 NGC2683, 2841, 2903, 3115 を単品で
- その9 おとめ座を南下する M49 から M61 まで
- その10 おとめ座を更に南下する  $\gamma$  星から 4697 を経て M104 まで
- ◎その11 北斗  $\gamma$  星からりょうけん座へ NGC3953, 4088, 4258
- ◎その12 かみのけ座星団の北へ
- その13 南天の落穂たち NGC3166, 3521, 4038
- その14 ペア銀河を見る 4567/68, 4754/62 5363/64
- その15 細い銀河を見る 3877,4111,4244, 4216
- その16 M101 に挑む
- その17 定番の M51, 63, 94
- その18 りょうけん座の東 5005,5033,5371
- その19 M83 と南天
- その20 卒業試験 M5 から NGC5846, 5746 へ
- 番外 クエーサ 3C273 を見る



その11 拡大図1 (滝星図 8.5 を加工) 北斗の $\gamma$ 星から5番星を経て3番星へ。右は $\chi$ 星を経て $\psi$ 星へ。8.5等星図で入るのは3893と4258だけだろう。残りは暗い星をていねいにたどる。



その11A 左 NGC3992

右 NGC3953

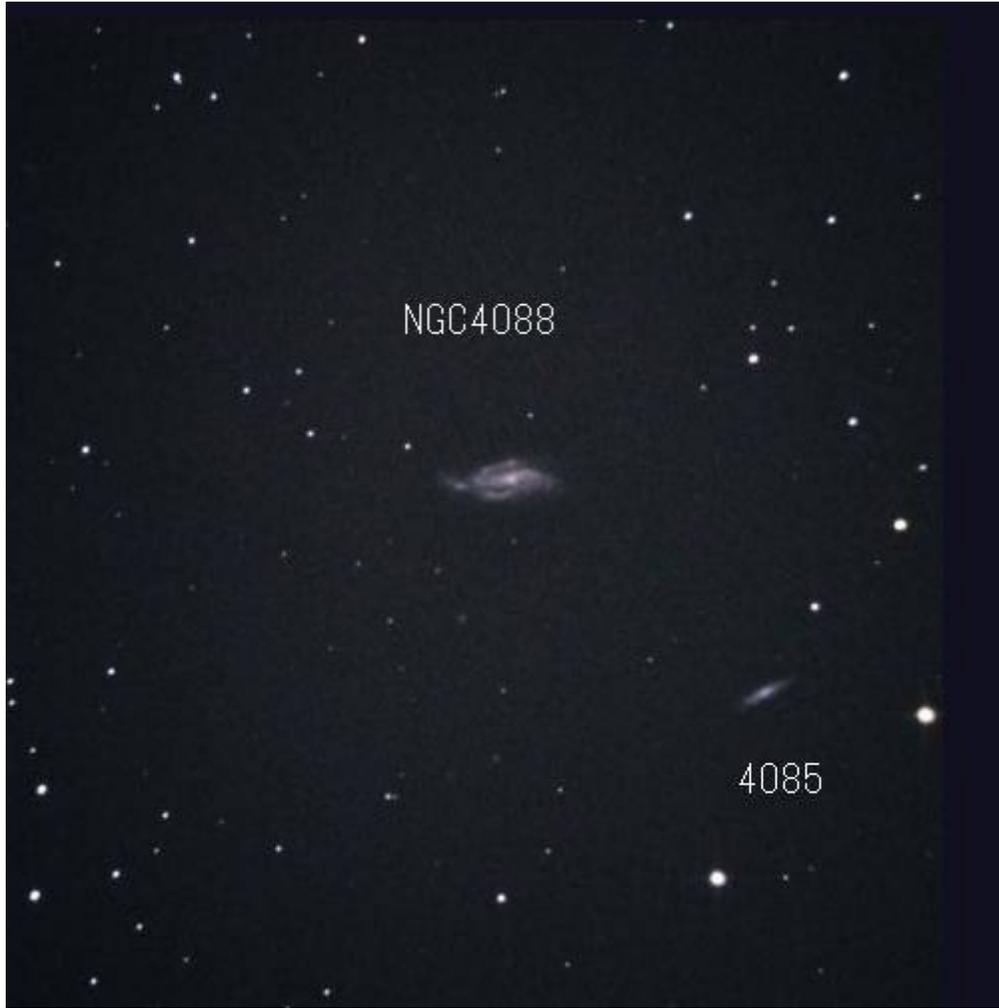


写真提供 Nyancotan 氏

メシエカタログの問題は一度触れておかないといけません。オリジナルは103個です。銀河のうち91と102は不明でした。

M109 はメシエ本人が $\gamma$ 星の1度南と書いているらしいので、どちらかなら NGC3953 です。どちらでもないという答えもあります。ささやかに NGC 番号で統一表記とさせていただきます。どちらも淡く自宅8インチでは空が霞むと見えません。しいて言えば 3953 が僅かに明るい。そのていどなので6等星図にメシエ天体として描いて欲しく無いところです。

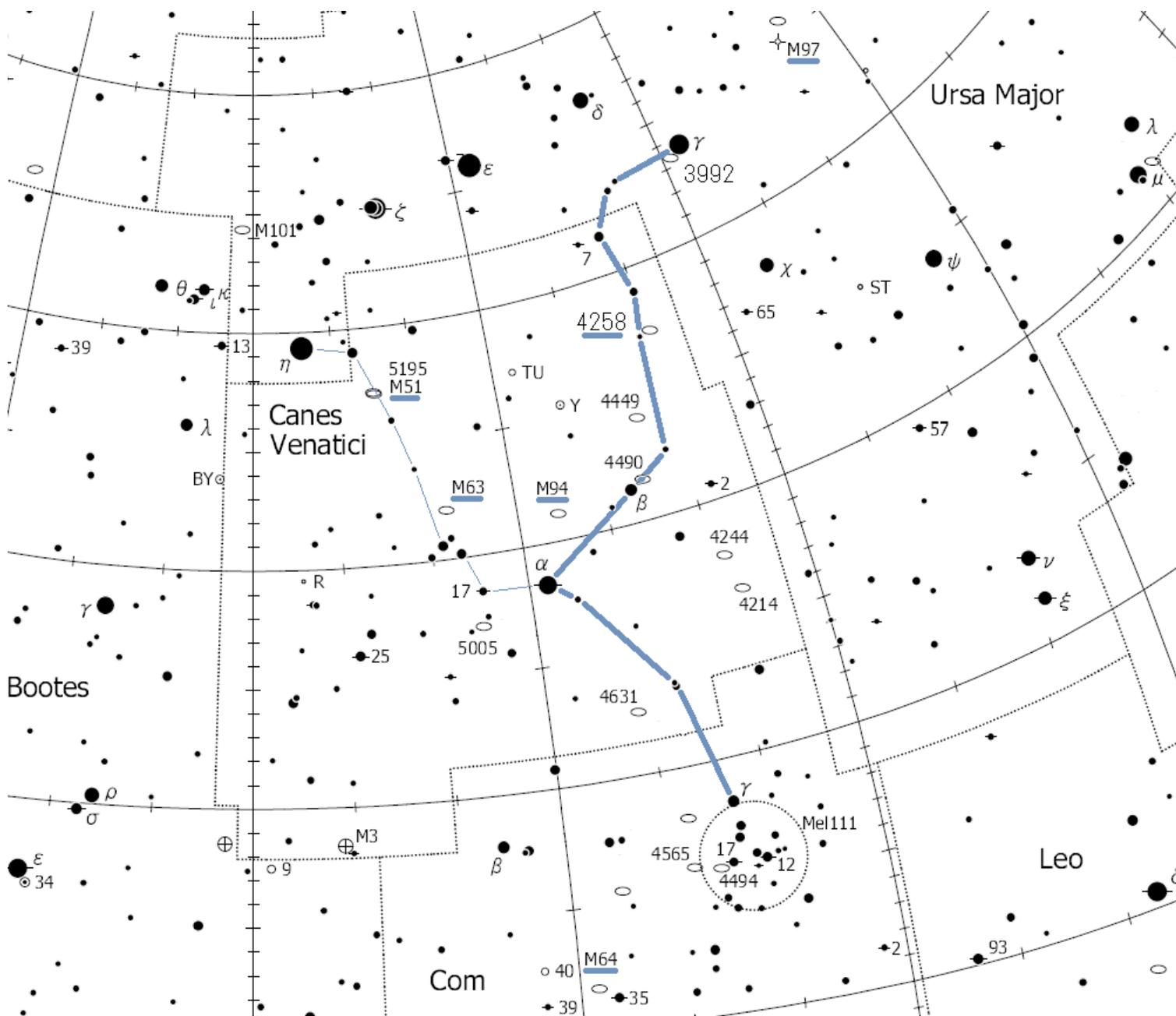
その11B 左 NGC4088 右



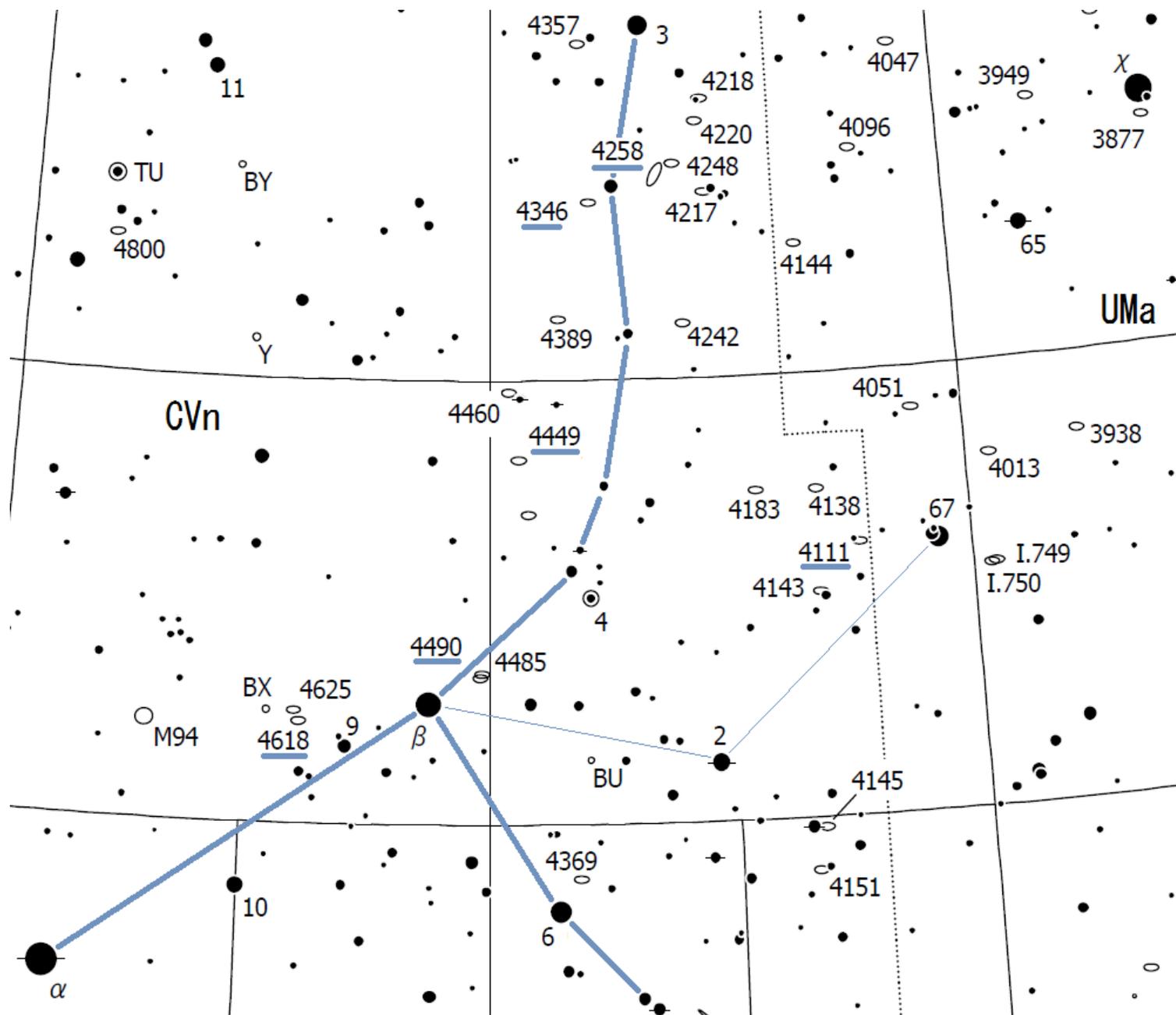
写真提供 Nyancotan 氏

観望メモ 8インチ70倍ほど

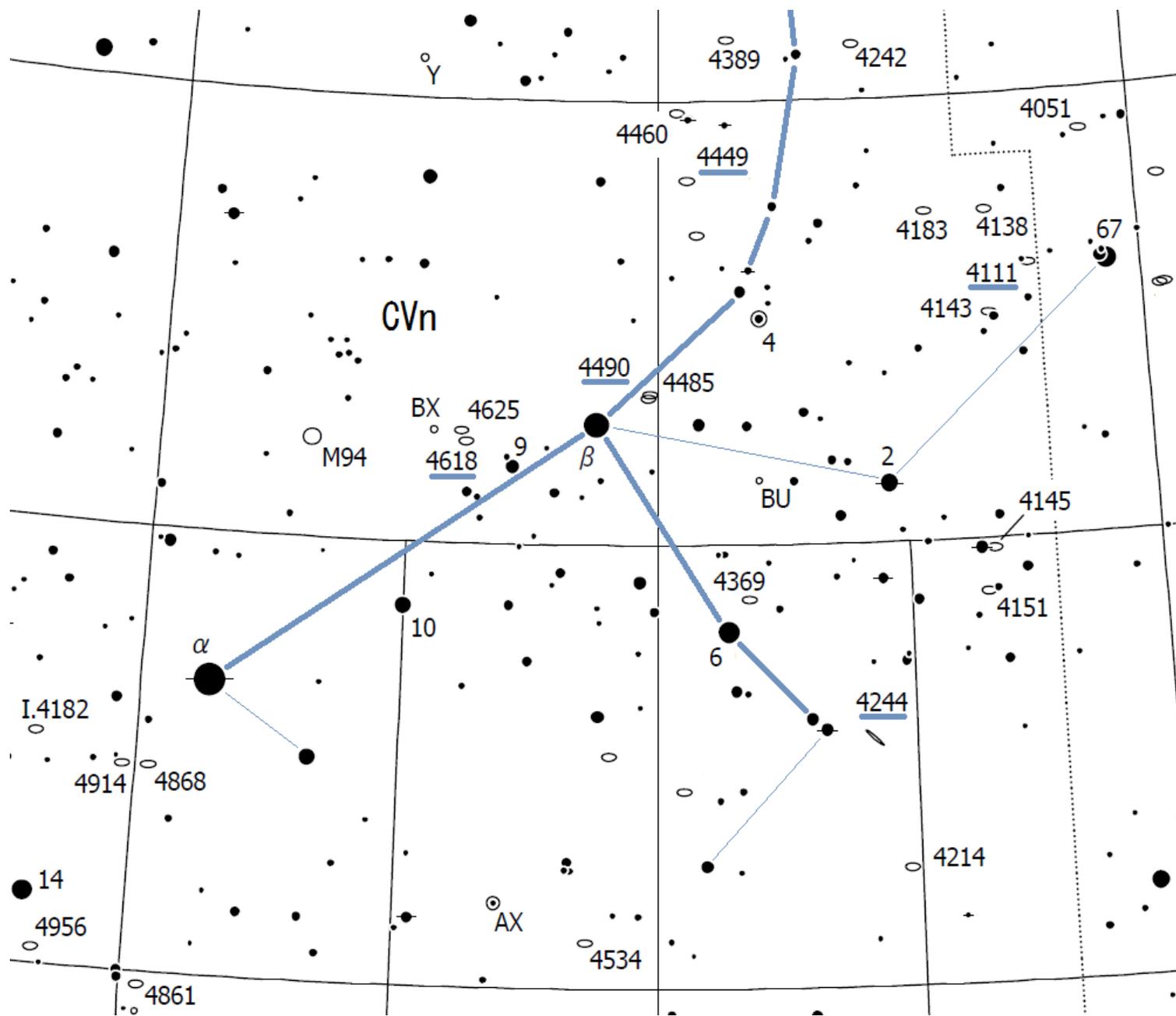
広域図2 (滝星図 6.5 を加工) 北斗の $\gamma$ 星から7番星を経てりょうけん座 $\beta \cdot \alpha$ 星へ。さらに、かみのけ座星団へ。左は著名な M51 を経て北斗へ。



拡大図2 (滝星図 8.5 を加工) 対象に NGC4346, 4449, 4490, 4111 を加える。



拡大図3 (滝星図 8.5 を加工) 対象に NGC4618,4244 を加える。





その12 写真 観望メモ 8インチ70倍ていど

写真提供 Nyancotan 氏